

# 令和3年度 第1回 浜松市広聴モニターアンケート調査結果の概要

## 1 調査目的

市政の課題等について、迅速に市民ニーズを把握し、市政へ反映するため

## 2 調査事項

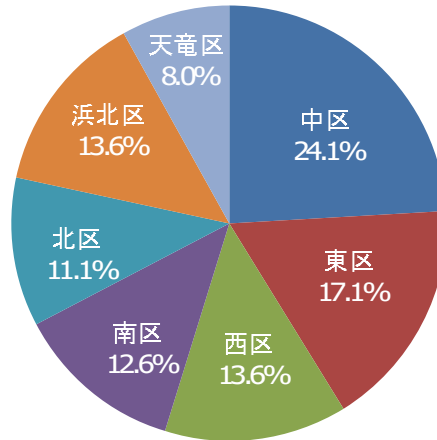
- (1) マイナンバーカードについて (総務部 政策法務課)
- (2) 住宅用火災警報器について (消防局 予防課)
- (3) 屋外活動の変化について (都市整備部 緑政課)
- (4) 日本茶の消費行動について (産業部 農業振興課)

## 3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市内
- (2) 調査対象 広聴モニター223人
- (3) 調査方法 質問紙郵送法及びインターネット回答
- (4) 調査期間 令和3年6月8日～6月22日

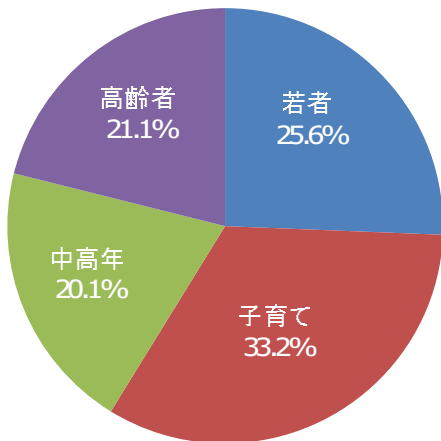
## 4 回収状況、有効回収率 199人(89.2%)

### ■ 回答者の居住区 (N=199)



居住区	人数	割合
中区	48人	24.1%
東区	34人	17.1%
西区	27人	13.6%
南区	25人	12.6%
北区	22人	11.1%
浜北区	27人	13.6%
天竜区	16人	8.0%

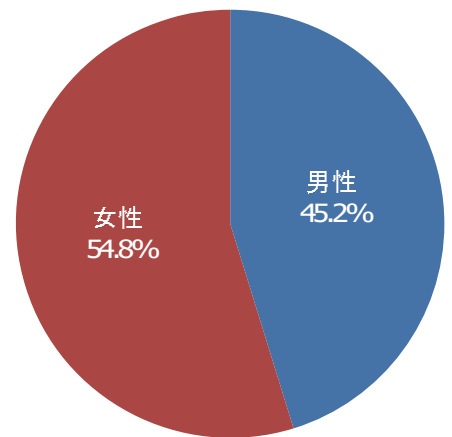
### ■ 回答者の世代 (N=199)



世代	年齢	人数	割合
若者	18歳～34歳	51人	25.6%
子育て	35歳～49歳	66人	33.2%
中高年	50歳～64歳	40人	20.1%
高齢者	65歳～79歳	42人	21.1%

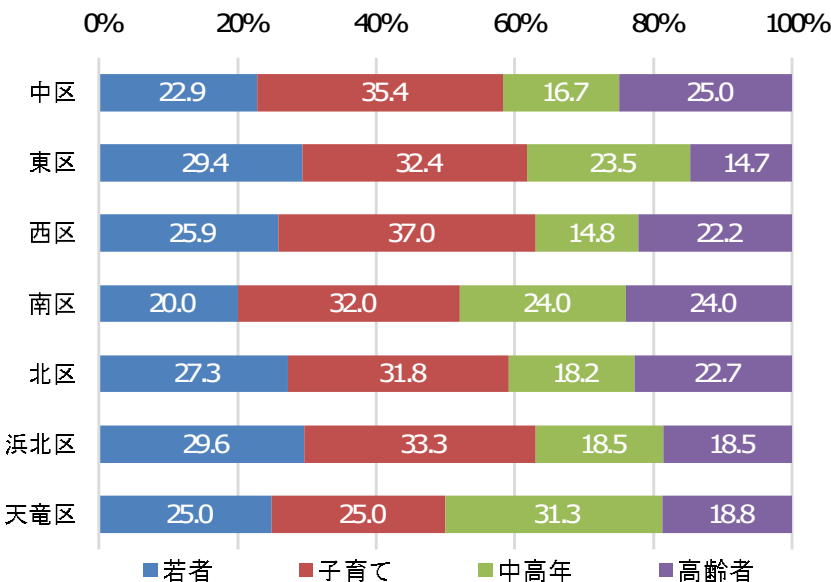


### ■ 回答者の性別 (N=199)



性別	人数	割合
男性	90人	45.2%
女性	109人	54.8%

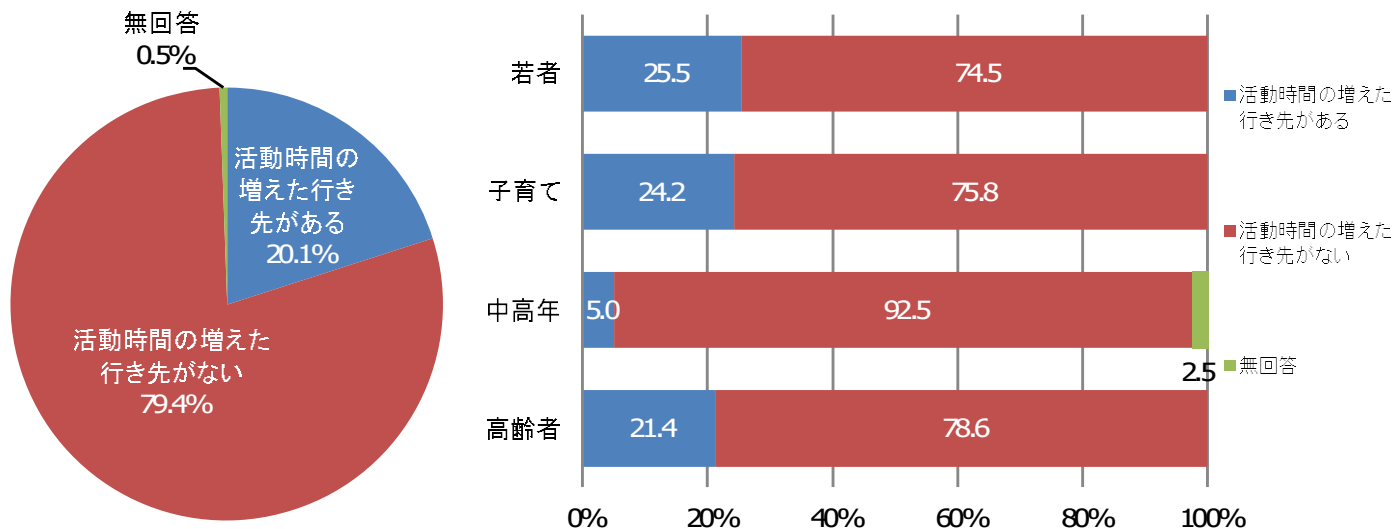
### ■ 行政区別の世代構成比 (N=199)



※比率はすべて百分率(パーセント)で表し、少数点以下第2位を四捨五入しています。このため、比率の合計が100%にならない場合があります。

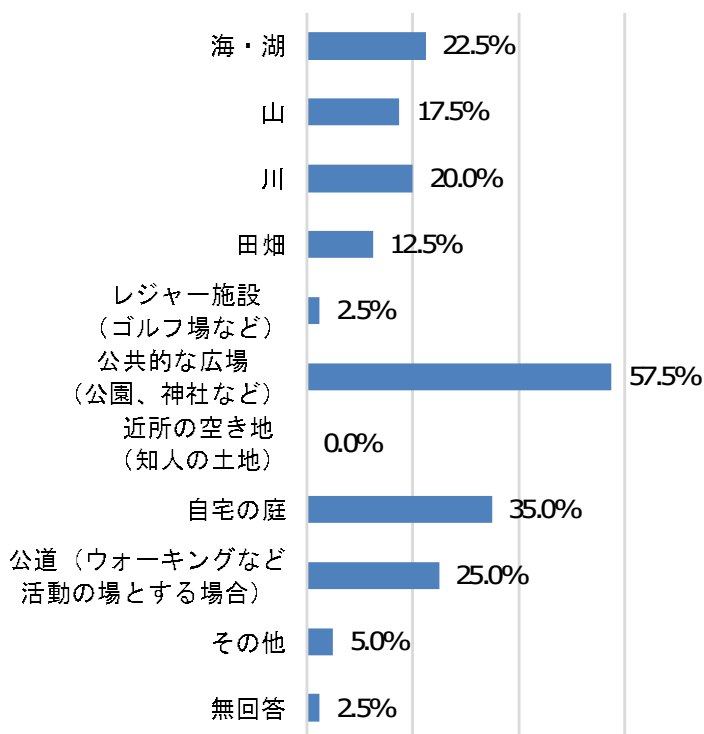
# <コロナ禍以前と現在とでの屋外活動の変化について>

## ■問1 直近一年間で、コロナ禍以前と比べて活動が増えた屋外での行き先があるか (N=199)



- 直近一年間で、コロナ禍以前と比べて活動が増えた屋外での行き先があるかについては、「活動時間の増えた行き先がある」が約2割となっています。
- 世代別にみると、若者の約3割、子育て・高齢者の約2割、中高年の約1割が「活動時間の増えた行き先がある」と回答しています。

## ■問2 活動時間が増えた場所 (N=40 複数回答) (問1で「1 活動時間の増えた行き先がある」と回答した方)

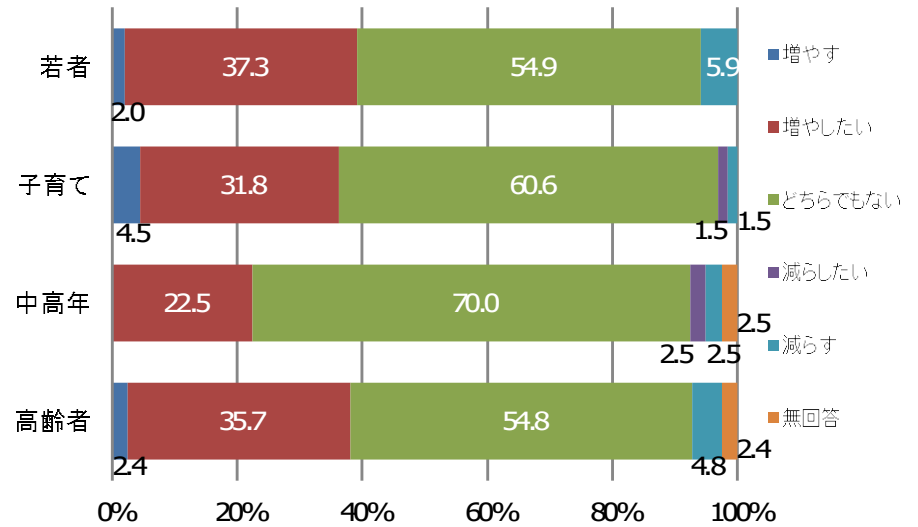
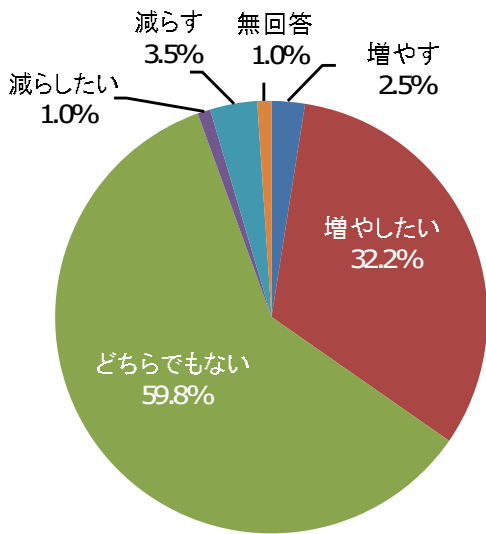


### ■その他意見

- ・温泉
- ・買い物

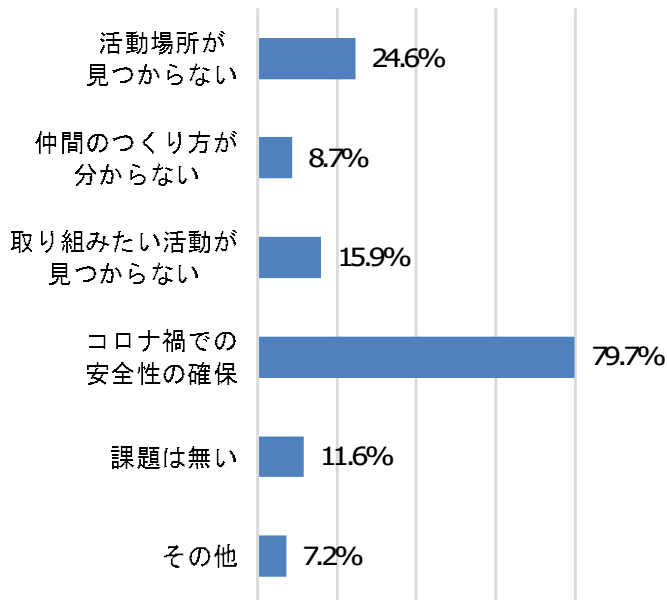
- 活動時間が増えた場所については、「公共的な広場(公園、神社など)」が約6割と最も多い回答となっています。

### 問3 今後の屋外活動の時間に対する意向 (N=199)



- 今後の屋外活動の時間に対する意向については、「どちらでもない」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「どちらでもない」が最も多い回答となっています。

### 問4 活動時間を増やすための課題 (N=69 複数回答) (問3で「1 増やす」と「2 増やしたい」と回答した方)



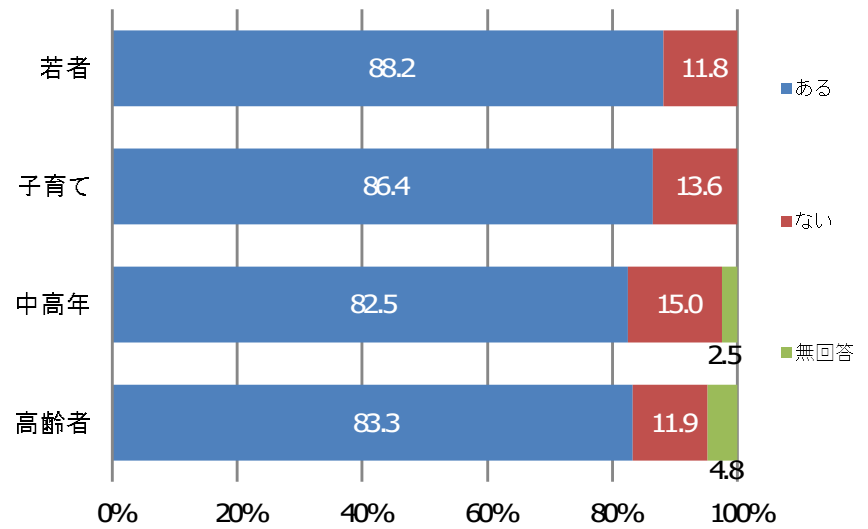
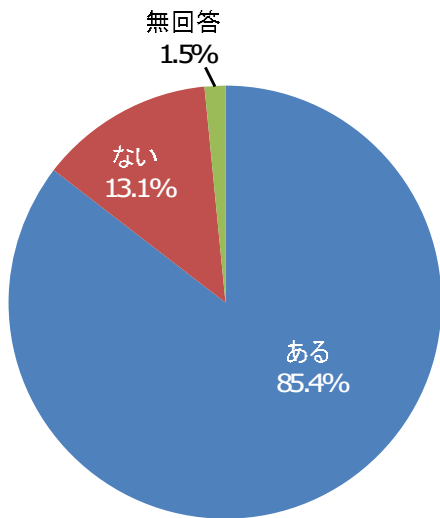
(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
活動場所が見つからない	35.0	33.3	11.1	6.3
仲間の作り方が分からない	10.0	4.2	22.2	6.3
取り組みたい活動が見つからない	15.0	12.5	33.3	12.5
コロナ禍での安全性の確保	70.0	75.0	88.9	93.8
課題は無い	10.0	12.5	22.2	6.3
その他	5.0	-	-	25.0

#### ■その他意見

- ・ワクチン接種の加速
- ・県外への移動自粛

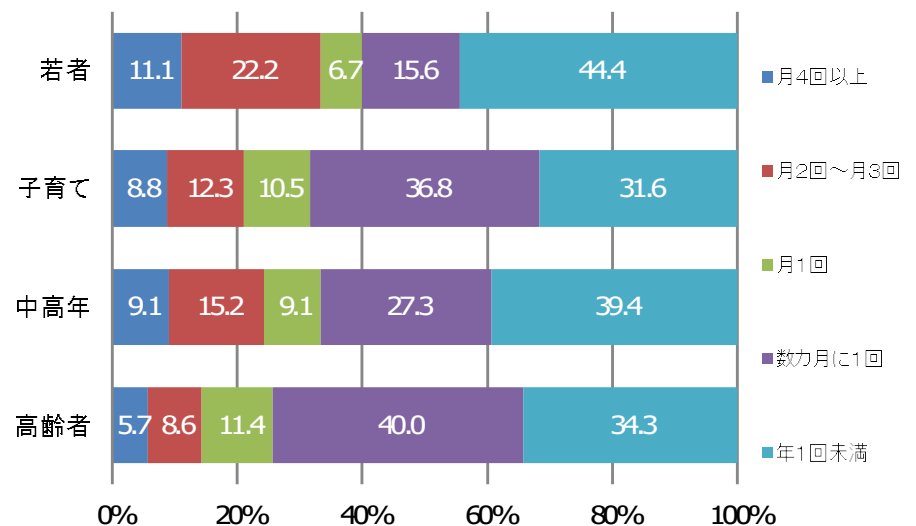
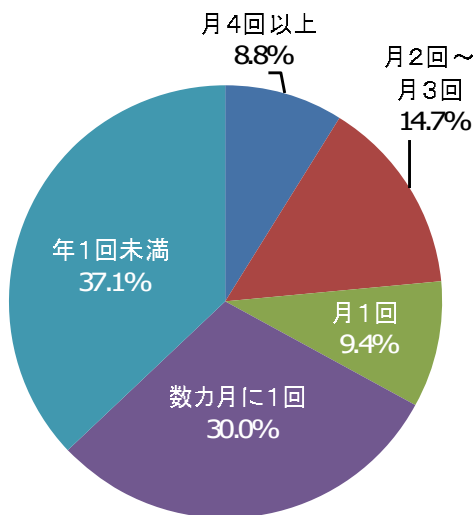
- 活動時間を増やすための課題については、「コロナ禍での安全性の確保」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは約3割が「活動場所が見つからない」、中高年の約3割が「取り組みたい活動が見つからない」と回答しています。

■問5 歩いて行ける距離に公共的な広場(公園、神社など)があるかどうか (N=199)



- 歩いて行ける距離に公共的な広場(公園、神社など)があるかどうかについては、「ある」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約9割、中高年・高齢者の約8割が「ある」と回答しています。

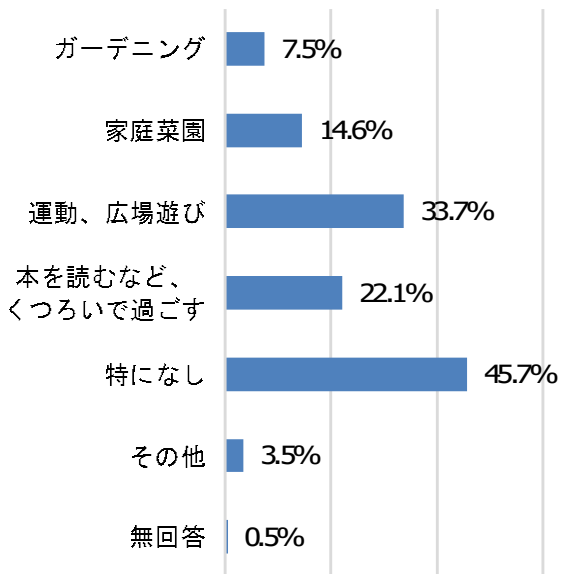
■問6 身近にある公共的な広場の利用頻度 (問5で「1 ある」と回答した方) (N=170)



- 身近にある公共的な広場の利用頻度については、「年1回未満」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年では「年1回未満」が、子育て・高齢者では「数カ月に1回」が最も多い回答となっています。

## 問7 近所で自由に使える空き地がある場合、行いたい活動

(N=199 複数回答)



(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
ガーデニング	5.9	9.1	5.0	9.5
家庭菜園	11.8	15.2	15.0	16.7
運動、広場遊び	33.3	39.4	22.5	35.7
本を読むなど、くつろいで過ごす	31.4	12.1	22.5	26.2
特になし	37.3	45.5	60.0	42.9
その他	3.9	3.0	5.0	2.4
無回答	2.0	-	-	-

### ■その他意見

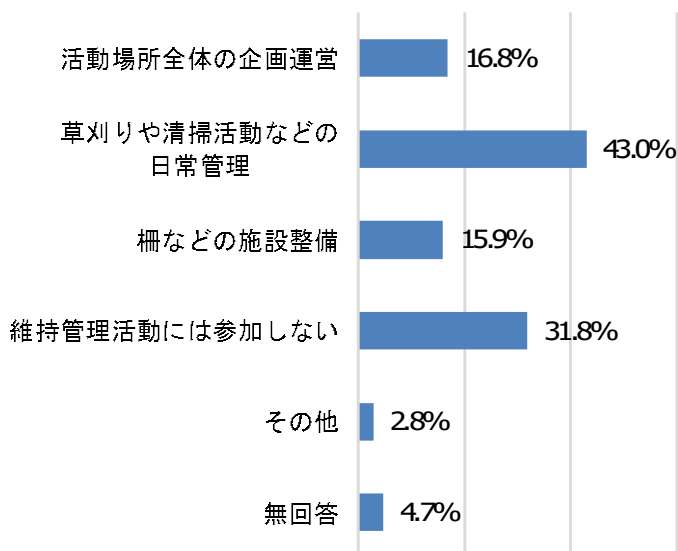
- ・音楽コンサート
- ・楽器を弾く
- ・バーベキュー
- ・子どもが自由に遊ぶ

■ 近所で自由に使える空き地がある場合、行いたい活動がある人は約5割で、行いたい活動で最も多いのは「運動、広場遊び」という回答となっています。

## 問8 問7の場所を維持するために参加してもよいと思う活動

(N=107 複数回答)

(問7で1つでも行いたい活動があると回答した方)



(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
活動場所全体の企画運営	29.0	8.3	18.8	12.5
草刈りや清掃活動などの日常管理	32.3	50.0	43.8	45.8
柵などの施設整備	19.4	11.1	18.8	16.7
維持管理活動には参加しない	32.3	38.9	12.5	33.3
その他	-	-	-	12.5
無回答	3.2	2.8	12.5	4.2

### ■その他意見

- ・年齢的、体力的、時間的に参加が難しい

■ 問7の場所を維持するために参加してもよいと思う活動については、「草刈りや清掃活動などの日常管理」が約4割と最も多い回答となっています。

■ 世代別にみても、参加してもよいと思う活動については、全ての世代で「草刈りや清掃活動などの日常管理」が最も多い回答となっています。